

8月25日(木)は高須教会におじゃましました。帰宅ラッシュの渋滞と重なった関係で、定刻の19時の時点では空席が目立った会堂も、15分ほどで満席になりました。最終的に14教会から50名の方がたが集まってくださいました。

初めに三上渡牧師が1コリント1:4~9から、み言を取り次いでくださいました。「今年で30周年を迎える高須開拓の歩みは、主イエスを信じる信仰に入れられてきた歩みそのものです。この恵みは北九州連合に連なる諸教会にも与えられています。」穏やかな語り口の三上牧師の宣教を通して、参加者一同、大きな励ましを受けました。

総務執事の村田宏一兄が、高須教会では毎月のように行事があることをユーモアを交えながら紹介してくださいました。また山田雄次協力牧師は、高須開拓が連合諸教会による物心両面の助け、そして母教会の若松教会の祈りと支えによって守られてきたことを振り返りながら、これからも「開かれた教会」であることを喜ぶ群れでありたい、と補足説明してくださいました。



後半は6グループに分かれて、教会が中長期計画を立てることの意味について語り合いました。つい過去を振り返ることに終始してしまいがちな私たちですが、5年後、10年後の教会の姿を想像しながら、幻を実現する手立てを考えることは楽しい作業であることを教えられました。高須教会の皆様方、本当にありがとうございました。

次回予告

巻頭言：斎藤剛毅協力牧師(別府国際)
おじゃまします報告：防府教会

9月・10月の予定

- 9月27日(火) センター常任委員会 (シオン山) 14時
- 29日(木) 教会おじゃまします ~防府教会 14時
- 10月2日(日) 「標的の村」上映会 (シオン山) 15時30分
- 10日(月) 連合まつり (シオン山) 10時
- 15日(土) チラシ配り伝道隊 ~飯塚教会 10時
- グローリーリングーズ 30周年コンサート (若松) 15時
- 23日(日) 下関教会泉選也牧師就任按手式 15時
- 27日(木) 教会おじゃまします ~直方教会 14時

編集後記

高須教会におじゃまさせていただいたときに、カラフルな教会の絵が目に留まりました。これは会堂建築の際の借入金返済の進捗状況を色で示して、メンバーを励ますためのもののだそうです。返済が終わった今も、教会開拓の精神を語り継ぐ目的で掲示しているとのことでした。教会の求心力というものは、もしかしたら教会が乏しさの中にあるときにこそ、力強いものになるのかもしれない。



連盟全国支援・地域協働プロジェクト
バプテスト北九州地方連合
宣教支援センターニュース 15号

発行責任者：山田雄次
発行所：〒805-0015
北九州市八幡東区荒生田2-1-40
Tel&Fax：(093)651-6669
東八幡キリスト教会内
連合宣教支援センター事務局
発行日：2016年9月23日



連載
バプテスト北九州地方連合まつりに向けて(2)
第1回連合まつりのメニュー発表
全国壮年大会 in 北九州こんなこともありました
教会おじゃまします 高須教会
写真：グループで語り合う様子
(8/25 高須教会)

共に「元気」を頂く集いとしての「連合まつり」への期待

宣教支援センター運営委員長 山田雄次(高須)



バプテストは自立と協力を旨として立つ教会であり、その自立と協力の両立が成っていることが、バプテスト教会としての成熟度を表すものとして、教会形成における重要な課題と考えられています。

そしてその二つの課題の両立をもたらすプロセスとして、一般的には自立が成ってこそその協力であり、協力することができる自立した教会形成を目指す・・・「自立が先」という考えが根強くあるように思います。しかし本当は、自立ができてからの協力ではなく、正確には「自立と協力は同時」、あえて順序付ければ、「協力が先」で自己を開き、参加(協力)することで自立が導かれるということと理解しています。

私は高須での開拓伝道でそのことを教えられました。高須伝道所の開所式の時、私たちは北九州の地方連合代表より、1テサロニケ3:7~8のみ言から祝辞を賜りました。「高須での開拓伝道は高須の皆さんだけの働きでなく、連合の働きそのものです。皆さんの苦勞は私たちの苦勞であり、皆さんの喜びは私たちの喜びです・・・高須での皆さんの働きから私たち地方連合に連なる教会が力を頂きたいと願っています。」

高須開拓に携わるにあたって、初めは相当なプレッシャーを感じていた私でしたが、頂いた祝辞のことで不安が払拭され、思いが変えられたのです！高須での働きと連合の働きが相互に深くつながっていることに気付かされた時、私の思いは開かれ、「自立の力」が与えられました。

連合と教会が協力しつつ与えられ、与えられつつ協力する。恵みの相互関係の中にあることに気付かれる中で、私には連合(集会ほか)に参加することが楽しくなり、ありがたくさえ思えるようになりました。

そんな訳で私は、教会の立ち方、信仰者の生き方について新しい気づきが与えられ、「元気」にされることを楽しみに、10月10日の「連合まつり」に参加したいと思っています。

連載「バプテスト北九州地方連合まつり」に向けて(2)

10月10日(月)10時から行う「連合まつり」のメニューがほぼ決まりました。連合の力を結集して、子どもを含む200名の皆様方に、多彩なプログラムの中から「元気」を持ち帰っていただけるようなお祭りにしたいと考えています。どうぞご期待ください。

日時：2016年10月10日(月)10時～16時 場所：日本バプテストシオン山教会

テーマ：人を元気にする教会になろう！

主題聖句：「しかし、今、あなたがたに勧めます。元気を出しなさい」(使徒27:22)

申込：教会ごとに取りまとめて連合事務局までお申し込みください。

最終〆切：10月2日(日)17時まで(メールもしくはFAXで)。

Menu 連合まつり

Oct.10.2016

教会元気プランの「その後」

- 枝光教会
「坂の途中の教会」になるために、私たちが試してみたこと。
- 防府教会
「教会の使命」のことば化
「少しおせっかいます！」
～地域のコーディネーターになる～
- 応答の時間
司会：谷本仰 牧師 (南小倉)



話す、聴く、知る、つながる

- グループの話し合い
8名程度のグループで、二つの教会からの発題をもとに話し合う。
- 最後に全体発表の場を持って、お互いの気付きを聴き合う。
- 派遣礼拝
金子敬 牧師 (古賀教会)
「聖書に聴く、人を元気にする教会とは」

Let's talk

子どもプログラムもあるよ

- 「小学科夏期学校のお友だち、新しいお友だちといっしょにあそぼう」
- わくわくたんけんラリーをやろう！
- スペシャルなおやつがあります！
- 次は来年の連合こいつじ会キャンプでまた会いましょう！



お祭りを楽しもう！

- 「北九連マルシェ」本日オープン
9:20～9:50
12:40～13:10
教会単位の出店を募集します！
買い物をしながら交流しましょう。



全国壮年大会 in 北九州 ～こんなこともありました～

その1. 坂を登る人びと

初日、約400名をお迎えする西南女学院マロリーホール。会場へは路線バスで来られる方が意外に多かったです。女学院下のバス停から正門をくぐると、いきなり登り坂。途中で主事と伊藤光雄牧師が立ち、登って来られる方がたを、受付場所へと誘導していました。炎天下にキャリアバックを引きずり、老若男女が頂上目指して、一步一步登って来られます。

開会礼拝が始まってからのこと、ある初老の男性がキャリアバックと共に、やっとの思いで坂を登って来られました。私たちは荷物運びを手伝おうと、その方のもとへ駆け寄り、「お一人でお越しですか?」「いいえ、妻が後ろの方に・・・」よく見ると、はるか坂の下に、お連れ合いらしき女性が立ちすくんでおられました。と、次の瞬間、おもむろに横の建物に入っていこうとされました。伊藤牧師が慌てて坂を下りていき、受付へのご案内して、お二人は無事に会場にたどり着きました。受付場所という一点に人びとを集めることの大変さを知りました。

その2. 空港バス、まさかの降車場

北九州空港から小倉駅行きのリムジンバス。終点降車場がバスによって、小倉駅南口と北口の二通りあることをご存じですか。実行委員も協力委員も誰ひとり知りませんでした。空港からのバスはすべて南口に着くものと思い込み、ウエルカムボードを持って、奉仕者の方に立っていただきました。途中で、直行バスの降車場は北口にあることを知り、急遽、北口にも奉仕者の方を立てました。まさかの緊急事態であるものですね。

その3. お弁当がよかった理由は

初日の夕食は、地元の味が詰まった特製弁当。280名が歓談しつつ召し上がっておられる光景は壮観でした。お客様にも好評で、ある方は「今回の夕食よかったです。味もさることながら、立食ビュッフェ形式ではなく、自分の食べる量が決まっているお弁当だったので大満足です！」歓談に熱中のあまり、食べそびれる心配がないというのも、お弁当の利点なのだと思います。

その4. 3分間の奇跡

2日目は定期総会。例年、全国壮年会連合定期総会は、熱い議論のゆえに予定時間を超えて長引くのが常でした。ところが今回は、奨学金委員長の選挙があったにもかかわらず、議長の巧みな進行により、予定時間3分前にすべての議事が終了したのです。3分も早く終わったという喜びと達成感が会場を包み、大きな拍手が湧き起こりました。みんな笑顔。次いで各団体による提唱を経て、無事に閉会礼拝をささげることができました。

今回の全国壮年大会 in 北九州に携わったすべての方がた、猛暑の中、共に汗を流しました。本当にお疲れ様でした。



【全国壮年大会 in 北九州の様子】

写真左

田口牧師と奥田牧師の対談

写真右

福久織江神学生の証し

写真下段

開会讃美(北九州連合聖歌隊)

